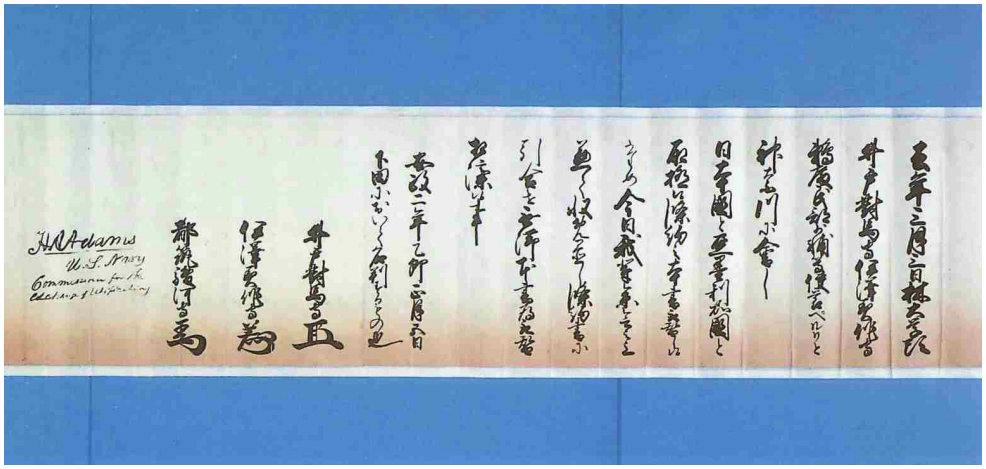
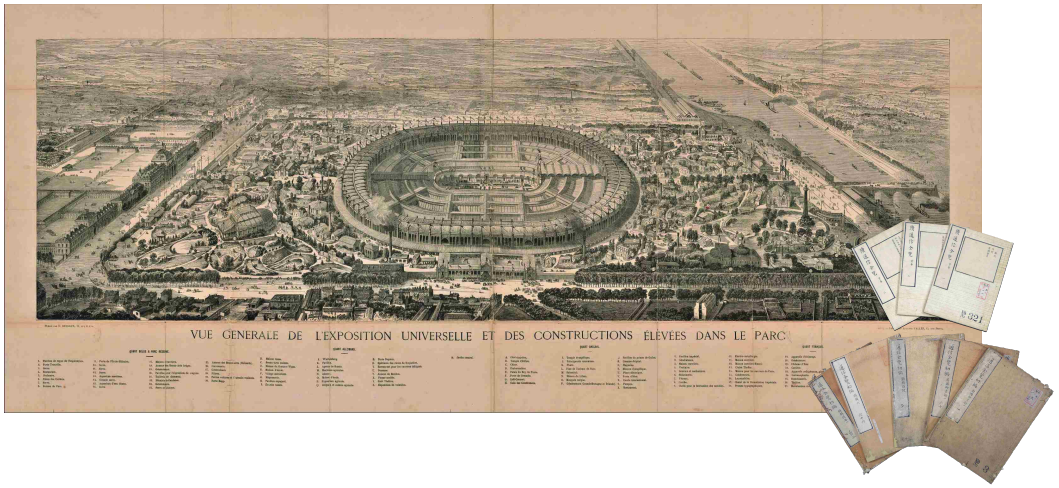


安政２年１月５日（1855 年２月 21 日）
日米和親条約（批准書交換証書）<重要文化財>



慶応３（1867）年
パリ万博　博覧会場全図　<重要文化財>
（「続通信全覧」より）



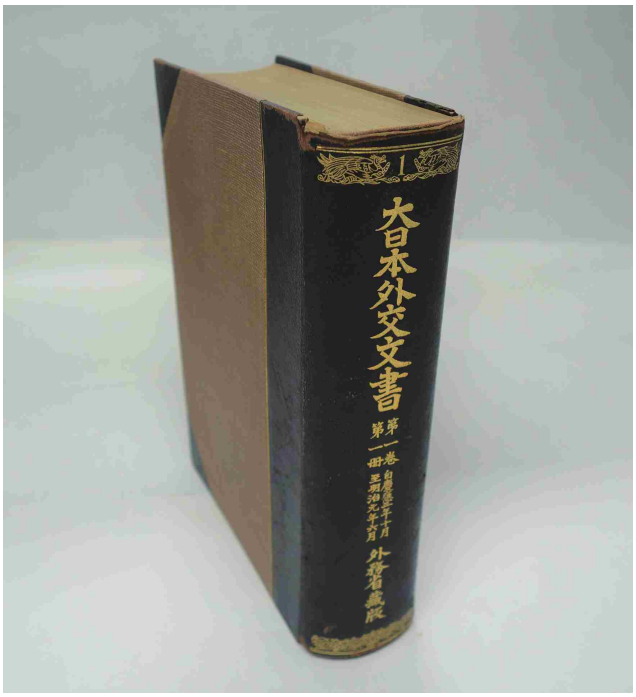


明治 43（1910）年 6 月 22 日
清国皇帝宣統帝（溥儀）より明治天皇宛国書
上：表紙　下：全体





昭和 26（1951）年
毎日新聞社編「講和条約記念アルバム」



昭和 11（1936）年 6 月 22 日発行
大日本外交文書　第一巻第一冊



平成元（1989）年～平成 2（1990）年
戦後外交記録（令和 3 年 12 月公開分）

「日米和親条約（批准書交換証書）」〈重要文化財〉

嘉永七年三月三日（一八五四年三月三一日）、日米和親条約が調印され、安政二年一月五日（一八五五年二月二一日）、批准書が交換された。これにより、同条約は正式に発効し、日本は米国と国交を結ぶと同時に開国することになった。

本史料はその際に日米間で取り交わされた証書であり、開国という歴史的事象を記録する日本外交史上極めて重要な史料である。

「パリ万博　博覧会場全図」〈重要文化財〉

慶応三（一八六七）年、パリで開催された万国博覧会に日本は初めて公式に参加・出品した。本史料は、フランス側が外国奉行の川勝広道に贈った博覧会場全図。重要文化財指定を受けた史料群「続通信全覧」に収録されている。

「清国皇帝宣統帝（溥儀）から明治天皇宛国書」

映画「ラストエンペラー」で知られる溥儀から明治天皇宛に送られた国書で、駐日公使の解任を伝えたもの。全長二二一cmに及ぶ史料の表紙に刺繍されている龍は清朝皇帝の象徴である。また、文字は漢字と満州文字が使用されている。本史料の画像は、外交史料館所蔵史料検索システムの画像閲覧機能を利用して、当館ＨＰ上で公開されている。

「毎日新聞社編『講和条約記念アルバム』」

毎日新聞社がサンフランシスコ平和条約調印を記念して、吉田茂総理に寄贈したアルバム。掲載写真は、昭和二六（一九五一）年九月八日、平和条約に調印する吉田総理をとらえたもの。

『大日本外交文書』第一巻第一冊

昭和一一年、外務省は慶応三年から明治元年（一八六七年から一八六八年）の外交史料を収録した『大日本外交文書』を刊行した。本事業は、第一次世界大戦後に外交活動の積極的な公開を始めた欧米諸国の動きを受けて開始されたもので、現在は外交史料館が担当している。刊行冊数は、令和四（二〇二二）年三月現在、二二六冊に達している。

戦後外交記録（令和三年一二月公開分）

昭和五一年より、外務省は自主的な取組として戦後外交記録の公開を開始し、平成二二（二〇一〇年）年五月には「外交記録公開に関する規則」を制定し、作成・取得から三〇年を経過した行政文書は公開する原則のもと、戦後の重要な外交交渉の記録公開を推進した。掲載写真は令和三年一二月に公開した特別審査ファイル。

戦後外交記録を除く右に紹介した史料は、当館で開催した特別展示「外交史料館五十年」で展示したものである。詳細は本号掲載の特別展示記事を参照されたい。